

2027 年度 総合型選抜学生募集要項

成 城 大 学

この内容は 2026 年 5 月現在のものであり、今後の社会情勢によって変更する可能性があります。本要項の記載内容を変更する場合は、本学入試情報サイト「成城ブリッジ」<https://admission.seijo.ac.jp>にてお知らせします。

目次

人材育成の目的と入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	P. 1
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	P. 3

出願手続

成城大学総合型選抜の流れ	P. 7
日 程	P. 8
募集人員	P. 8
出願資格概要	P. 9
出願資格照会・事前審査	P. 10
障がい等のある方への受験上の配慮について	P. 10

経済学部

総合型選抜の趣旨	P. 11
出願資格(本学部で課す出願要件を含む)	P. 11
一次試験	P. 12
二次試験	P. 14

文芸学部

総合型選抜の趣旨	P. 15
出願資格(本学部で課す出願要件を含む)	P. 16
一次試験	P. 19
二次試験	P. 21

法学部

総合型選抜の趣旨	P. 22
出願資格	P. 22
一次試験	P. 22
二次試験	P. 23

社会イノベーション学部

募集する人材	P. 24
出願資格(本学部で課す出願要件を含む)	P. 24
一次試験	P. 26
二次試験	P. 27

提出書類・WEB出願

提出書類	P. 28
WEB出願の流れ	P. 32
出願内容の変更	P. 36

入学手続

入学手続	P. 37
入学準備プログラム	P. 37
学 費	P. 38

入学検定料の返還・入学辞退

入学検定料の返還	P. 39
入学辞退	P. 39

成城大学の目的と入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

成城大学の目的

第1条 本大学は成城学園創業の精神に則り個性の暢達を主眼として広く専門の学芸を研究教授し、広角の視野と高度の教養を具えかつ、豊かな個性を持つ社会の先導者を育成すると共に、文化の発展に貢献することを目的とする。（大学学則より抜粋）

成城大学の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学の目的および各学部・学科における人材育成の目的を達成するために、次の条件を満たす人材を入学者として求める。

- (AP1) 高等学校の教育課程を通じて、大学での学修に必要な基礎学力を修得している者。（知識・技能）
- (AP2) 経済・社会・文化・歴史や人間に対して旺盛な関心を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる者。（思考力・判断力・表現力）
- (AP3) 多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ者。（主体性・多様性・協働性）

各学部の人材育成の目的と入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部

人材育成の目的

経済学部は、経済社会における諸現象を理論的・実証的に把握し、変貌する現実社会に対する洞察力と判断力を養うとともに、事業経営など種々の環境において必要な識見と実践能力を具えた人材を育成することを目的とする。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部では、その人材育成の目的を達成するために、経済・社会に対する高い関心を持ち、専門能力の向上と幅広い識見の獲得を目指し、論理的思考力を身につけることを目指す多様な人材を求めている。そのため、語学力、読解力、論理的思考力、表現力の基礎力があり、かつこれらを伸ばす意欲がある入学者受入れを目指している。

- (1) 経済社会や歴史に対して強い関心を持ち、高校卒業レベルの国語能力や外国語能力を具えている人材。社会や歴史、数学についても高校卒業レベルの基礎知識を持つ人材が望ましい。
- (2) ゼミナールで、教員と学生、学生同士の討論形式で学ぶことのできるコミュニケーション力、および読解力や文章力などのリテラシーを有する人材。
- (3) 文化や価値観の多様性を理解できる思考の柔軟性と豊かな感性を兼ね具え、主体的に他者と協働することを目指し、特定の専攻分野だけでなく、幅広い分野を興味と関心を持って学ぶ意欲がある人材。

文芸学部

人材育成の目的

文芸学部は、人間の文化的営為に関する多角的な研究・考察を通じて、豊かな教養、柔軟な思考力、広い視野を修得させ、かつ、それらを基盤にした知的創造性に富み、それをもって社会に貢献しうる人を育てることを目的とする。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

文芸学部は、次の条件を満たす人を入学者として求めます。

1. 文芸学部の学問を学修する上で必要な基礎学力を有する人。
2. 文芸学部の学問について、旺盛な関心を持つとともに、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を有する人。
3. 自らの個性を自覚し、その研鑽に意欲的であるとともに、多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度を有する人。

法学部

人材育成の目的

法学部は、法的なものの見方・考え方を身につけることをめざし、現代の法律学を体系的に学ぶことによって、深い理解力、確かな判断力、豊かな想像力をもった人材を育成することを目的とする。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

法学部は、その教育の基本理念のもと、次のような学生を求めています。

法学の基礎は、まず実際に適用されている法律を知ることから始まります。その目的は、法がどのような考えに基づいて制定されているのかを自分自身で解き明かし、他者とのコミュニケーションも糧としつつ、法的な考え方“リーガルマインド”を修得することにあります。そのために、入学者には、社会と人間に対して関心を持ち、以下のような学力、関心等を有することを求めます。

- (1) 法制度に関する知識を修得するために必要な基礎的学力を有すること
- (2) 社会で生じている問題を自分自身で論理的に解明しようとする意欲とその解明に取り組むための基礎的素養を有すること
- (3) 他者とのコミュニケーションを糧としつつ、自らの考えを深めようとする意欲を有すること

社会イノベーション学部

人材育成の目的

社会イノベーション学部は、社会に持続した発展をもたらす人間の創造活動であるイノベーションについて学問横断的に理解し、社会に貢献する意欲をもって、自らそれらに関する問題を発見・設定・解決し、その成果を論理的また実践的な言語能力を活用して伝達することができる、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

社会イノベーション学部は、その人材育成の目的を達成するために、入学者には、以下のような学力、関心等を有することを求める：

- (a) イノベーションに関する知識を修得するために必要な基礎的学力；
- (b) 日本語及び英語の基礎的活用能力；
- (c) 自己を成長させることにより社会に貢献しようとする意欲；
- (d) イノベーションに関する興味と、関連する問題の発見・解決に自律的に取り組む関心。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

経済学部

経済学部では、卒業の認定に必要な能力を涵養するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

- (1) 思考の柔軟性と豊かな感性を兼ね具え、主体的に他者と協働する姿勢を涵養するために、少人数教育と個性尊重の考えのもとに、ゼミナールを必修の専門科目とする。
- (2) 経済人として必要なコミュニケーション能力を持ち、課題発見・解決能力、提案および発信能力を身につけるため、ゼミナールでは、教員と学生の双方向コミュニケーションの促進と討論形式による学生間コミュニケーションの活性化を重視し、4年次に行うゼミナールでは、卒業論文の提出を全員に義務づける。
- (3) 経済社会を広い視野で総合的に把握し、経済学的・経営学的考察力を涵養するため、専門科目を「専門基礎科目」と「専門選択科目」に分けて配置し、段階的に専門性を高める。
- (4) 経済社会に関する課題を発見し、探求するために必要な幅広い知識および方法を修得するために、経済学科・経営学科の垣根を越えて履修可能な「自由設計科目」を配置する。
- (5) 国際社会で通用する基礎的語学力を養うため、英語だけでなく、第二外国語（独・仏・中国語）を必修とする。また、経済社会における諸現象の理論的・実証的な把握に必要な基礎学力を涵養するために、情報処理、数理的分析に関する科目を「基礎科目」に配置する。

経済学科及び経営学科の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）については、次のサイトより確認してください：

<https://www.seijo.ac.jp/about/edu-policies/economics/>



文芸学部

文芸学部は、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

1. 文芸学部の学問に関する思考力・理解力・表現力を養い、感受性を開発するために、質量ともに十分な授業を配置し、受講者はでき得る限り少人数に抑え、個性を尊重した指導を実施します。
2. 大学における勉学の基礎となる読解力・文章表現力および発表・議論する力を養うために WRD 科目と文芸講座を初年次の必修とします。
3. 大学生として必要な教養を養うために、教養科目を設けます。
4. 文芸学部の学問に必要な外国語に習熟するとともに、異文化を理解するために外国語科目を設け、二つの外国語の履修を必修とし、その効果的な運用のためにグレード制を敷きます。
5. 各自の個性に基づき、それをいかに社会に生かすかを考えるために、初年次からキャリア科目を設けます。
6. 専門分野に関する知識および方法論を修得し得るよう、学科科目は、初年次段階から学年進行に合わせて体系的に配置します。
7. 文芸学部の学問について、知的理解にとどまらず、それに対する感受性を養うために、必要に応じて体験的実践的な授業（実習・研修旅行など）を設けます。
8. 大学における学修の集大成として、卒業論文の執筆を課します。
9. 文芸学部において各自の専門分野以外の領域の学問を幅広く学修するために、他学科の科目を自由選択科目として履修することを認めるとともに、主専攻・副専攻制度を設けます。

英文学科

英文学科は、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

1. 英語学・英語文学・英語文化に関する思考力・理解力・表現力を養い、感受性を開発するために、質量ともに十分な授業を配置し、受講者はでき得る限り少人数に抑え、個性を尊重した指導を実施します。
2. 大学における勉学の基礎となる読解力・文章表現力および発表・議論する力を養うために WRD 科目と文芸講座を初年次の必修とします。
3. 大学生として必要な教養を養うために、教養科目を設けます。
4. 英語学・英語文学・英語文化の研究に必要な英語に習熟するとともに、異文化を理解するために副外国語科目を設け、英語と合せて二つの外国語の履修を必修とし、その効果的な運用のためにグレード制を敷きます。
5. 各自の個性に基づき、それをいかに社会に生かすかを考えるために、初年次からキャリア科目を設けます。
6. 英語学・英語文学・英語文化に関する知識および方法論を修得し得るよう、学科科目は、初年次段階から学年進行に合わせて体系的に配置します。
7. 英語学・英語文学・英語文化について、知的理解にとどまらず、それに対する感受性を養うために、必要に応じて体験的実践的な授業を設けます。
8. 大学における学修の集大成として、卒業論文の執筆を課します。
9. 英文学科において専門分野以外の領域の学問を幅広く学修するために、他学科の科目を自由選択科目として履修することを認めるとともに、主専攻・副専攻制度を設けます。

文化史学科

文化史学科は、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

1. 歴史学・民俗学・文化人類学に関する思考力・理解力・表現力を養い、感受性を開発するために、質量ともに十分な授業を配置し、受講者はでき得る限り少人数に抑え、個性を尊重した指導を実施します。
2. 大学における勉学の基礎となる読解力・文章表現力および発表・議論する力を養うために WRD 科目と文芸講座を初年次の必修とします。
3. 大学生として必要な教養を養うために、教養科目を設けます。
4. 歴史学・民俗学・文化人類学に必要な外国語に習熟するとともに、異文化を理解するために外国語科目を設け、二つの外国語の履修を必修とし、その効果的な運用のためにグレード制を敷きます。
5. 各自の個性に基づき、それをいかに社会に生かすかを考えるために、初年次からキャリア科目を設けます。
6. 歴史学・民俗学・文化人類学に関する知識および方法論を修得し得るよう、学科科目は、初年次段階から学年進行に合わせて体系的に配置します。
7. 歴史学・民俗学・文化人類学について、知的理解にとどまらず、それに対する感受性を養うために、体験的実践的な授業（実習など）を設けます。
8. 大学における学修の集大成として、卒業論文の執筆を課します。
9. 文化史学科において専門分野以外の領域の学問を幅広く学修するために、他学科の科目を自由選択科目として履修することを認めるとともに、主専攻・副専攻制度を設けます。

マスコミュニケーション学科

マスコミュニケーション学科は、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

1. マスコミュニケーション学科の学問に関する思考力・理解力・表現力を養い、感受性を開発するために、質量ともに十分な授業を配置し、受講者はでき得る限り少人数に抑え、個性を尊重した指導を実施します。
2. 大学における勉学の基礎となる読解力・文章表現力および発表・議論する力を養うために WRD 科目と文芸講座を初年次の必修とします。
3. 大学生として必要な教養を養うために、教養科目を設けます。
4. マスコミュニケーション学科の学問に必要な外国語に習熟するとともに、異文化を理解するために外国語科目を設け、二つの外国語の履修を必修とし、その効果的な運用のためにグレード制を敷きます。
5. 各自の個性に基づき、それをいかに社会に生かすかを考えるために、初年次からキャリア科目を設けます。
6. マスコミュニケーション学科の学問に関する知識および方法論を修得し得るよう、学科科目は初年次段階から学年進行に合わせて体系的に配置します。とくに、社会調査と社会心理学実験の技法の習得が出来るように実習科目を配置します。
7. マスコミュニケーション学科の学問について、知的理解にとどまらず、それに対する感受性を養うために、体験的実践的な授業（実習・研修旅行など）を設けます。
8. 大学における学修の集大成として、卒業論文の執筆を課します。
9. マスコミュニケーション学科において専門分野以外の領域の学問を幅広く学修するために、他学科の科目を自由選択科目として履修することを認めるとともに、主専攻・副専攻制度を設けます。

ヨーロッパ文化学科

ヨーロッパ文化学科は、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

1. ヨーロッパ文化学科の学問に関する思考力・理解力・表現力を養い、感受性を開発するために、質量ともに十分な授業を配置し、受講者はでき得る限り少人数に抑え、個性を尊重した指導を実施します。
2. 大学における勉学の基礎となる読解力・文章表現力および発表・議論する力を養うために WRD 科目と文芸講座を初年次の必修とします。
3. 大学生として必要な教養を養うために、教養科目を設けます。
4. ヨーロッパ文化学科の学問に必要な外国語に習熟するとともに、異文化を理解するために外国語科目を設け、ドイツ語またはフランス語を必修として最低二つの外国語の履修を課し、その効果的な遂行のためにグレード制を敷き、学科科目にもドイツ語およびフランス語外国語科目を置きます。
5. 各自の個性に基づき、それをいかに社会に生かすかを考えるために、初年次からキャリア科目を設けます。
6. 歴史・哲学・文学・言語学・西洋古典学・芸術・比較文化に関する知識および方法論を修得し得るよう、またヨーロッパの現在について探究心が刺激されるよう、学科科目は初年次段階から学年進行に合わせて体系的に配置します。
7. ヨーロッパ文化学科の学問について、知的理解にとどまらず、それに対する感受性を養うために、必要に応じて体験的実践的な授業を設けます。
8. 大学における学修の集大成として、卒業論文の執筆を課します。
9. ヨーロッパ文化学科において専門分野以外の領域の学問を幅広く学修するために、他学科の科目を自由選択科目として履修することを認めるとともに、主専攻・副専攻制度を設けます。

法学部

法学部のカリキュラムは、その教育の基本理念のもと、「基礎から応用への段階的学習」、「進路別コースに基づいた学生の自主的学習」という観点から編成し、実施します。具体的には、

1、2年次に憲法、民法、刑法の基本三科目の基礎を、比較的少人数のクラス編成の下で徹底的に学習させ、そのうえで、3、4年次に配置している多彩な選択科目を学習させるようにしています。

3、4年次の学習においては、自分の進路希望にとってどのような科目を履修するのが適切なのかを個々の学生が把握出来るように、法プロコース、企業と法コース、公共政策コース、および、国際社会と法コースという四つのガイドラインを用意し、それぞれについて標準的な履修モデルを提示しています。

また、学生の進路希望にとって必要な科目を必要な時期に履修出来るように、外国語や基礎教養科目等を4年間にわたって履修可能なカリキュラムを編成しています。

社会イノベーション学部

社会イノベーション学部は、その人材育成の目的を達成するために、以下のように教育課程を編成し実施する。

教授する内容に応じて、「専門科目」(必修科目)、「専門科目」(選択科目)、「基礎科目」、「外国語科目」、「学部共通科目」、「一般共通科目」、及び「総合教養科目」という科目群を配置する。

A. イノベーションに関する基礎知識を活用する能力の涵養に主として関連する科目群：

(1) 「専門科目」(選択科目)

イノベーションに関して現在発展している分野の科目を配置する。イノベーションを政策、戦略、心理、社会という4つの視点から捉えるために、「政策系科目」、「戦略系科目」、「心理系科目」、「社会系科目」を配置する；

(2) 「基礎科目」

イノベーションに密接に関連する既存学問領域の基礎的な科目を配置する；

B. 日本語を用いて論理的に表現する能力及び英語を用いて実践的にコミュニケーションする能力の涵養に主として関連する科目群：

(3) 「外国語科目」

実践的英語活用能力(“使える英語力”)を涵養する科目を配置する。世界共通言語(リングフランカ)としての英語について、コミュニケーション手段としてのみならず、生活習慣や文化様式といった言語で表象される社会・文化的背景をも踏まえて理解できるように履修させる；

(4) 「学部共通科目」

英語力のさらなる向上及び英語以外の外国語の能力を涵養する科目を配置する；

(5) 「一般共通科目」

情報リテラシー、身体スキル、キャリア形成技能を涵養する科目を配置する；

C. 社会に貢献できるよう、実際上の問題に取り組む能力の涵養に主として関連する科目群：

(6) 「総合教養科目」

専門能力を適切に発揮させる基盤として、健全な懐疑の精神と幅広い視野をもった洗練された教養を高める科目を配置する；

D. 自律的に問題を発見・設定・解決し、その成果を伝達する能力の涵養に主として関連する科目群：

(7) 「専門科目」(必修科目)

総合的に知識・技能を発揮させて、問題を発見・設定・解決し、その成果を伝達する能力を涵養する科目(ゼミナール)、及び、その能力を活用して、自律的な取り組みにより研究成果を取り纏める能力を涵養する科目(卒業研究)を配置する。

政策イノベーション学科及び心理社会学科の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)については、次のサイトより確認してください：
<https://www.seijo.ac.jp/about/edu-policies/social-innovation/>



出願手続

成城大学総合型選抜の流れ

1 募集学科、審査方法、出願資格、出願書類の確認・準備



- ・学部・学科によって異なりますので、ご自身が出願する学部・学科の内容をよく確認してください。
- ・出願書類は、一次試験出願期間の前から余裕を持って準備してください。
- ・本学所定用紙は、入試情報サイト「成城ブリッジ」から別途ダウンロードし、印刷又は入力して使用してください。

URL：<https://admission.seijo.ac.jp/admission/sogo>

印刷の際は、白色のA4用紙に片面100%サイズで印刷してください。書き損じた場合の修正テープや修正液等の使用は本人の判断に委ねます。

※学校や各種団体から取り寄せる必要がある出願書類は、特に時間に余裕をもって準備してください。

2 一次試験出願



- ・一次試験の検定料15,000円を納付してください。(1回の出願ごとに支払い手数料が必要となります)
- ・WEB出願および出願書類の提出(郵送またはWEB出願サイトからのアップロード)を出願期間内に完了させてください。

3 一次試験受験票の確認(法学部・社会イノベーション学部のみ)



- ・受験票は印刷可能期間内に、WEB出願サイトのマイページから、以下のとおり印刷してください。
 - ①「受験票を印刷する」ボタンをクリックし、一覧の中から出力したい受験票の「印刷」ボタンをクリックする。
 - ②白色のA4用紙に片面100%サイズで印刷する。
- ※不正行為の疑いを持たれぬよう、受験票(表面・裏面とも)には一切の書き込みを禁止します。

4 一次試験当日(法学部・社会イノベーション学部のみ)



- ・必ず印刷した受験票を持参してください。
- ・その他試験にあたっての注意事項は各学部・学科のページを確認してください。

5 一次試験合格者発表・二次試験出願(一次試験合格者のみ)



- ・WEB出願サイトのマイページにある「合否の照会」ページで発表します。
- ・二次試験の検定料20,000円を納付してください。(1回の出願ごとに支払い手数料が必要となります)
- ・一次試験合格者は、WEB出願を出願期間内に完了させてください。

6 二次試験受験票の確認



- ・受験票は印刷可能期間内に、WEB出願サイトのマイページから、以下のとおり印刷してください。
 - ①「受験票を印刷する」ボタンをクリックし、一覧の中から出力したい受験票の「印刷」ボタンをクリックする。
 - ②白色のA4用紙に片面100%サイズで印刷する。
- ※不正行為の疑いを持たれぬよう、受験票(表面・裏面とも)には一切の書き込みを禁止します。

7 二次試験当日



- ・必ず印刷した受験票を持参してください。
- ・その他試験にあたっての注意事項は各学部・学科のページを確認してください。

8 二次試験合格者発表



- ・WEB出願サイトのマイページにある「合否の照会」ページで発表します。

9 入学手続

- ・二次試験合格者は、入学手続を入学手続期間内に完了させてください。
- ・入学手続方法の詳細は、WEB出願サイトにて合格者に公開する「入学手続要項」を確認してください。

日程

対象学部・学科		経済学部	文芸学部	法学部	社会イノベーション学部
		経済学科 経営学科	英文学科 文化史学科 マスコミュニケーション学科 ヨーロッパ文化学科	法律学科	政策イノベーション学科 心理社会学科
総合型選抜ガイダンス ※1		6月14日(日) / 7月19日(日) / 8月1日(土)			
一次試験	出願受付期間	9月15日(火)～9月25日(金) ※出願書類は最終日消印有効	9月8日(火)～9月18日(金) ※出願書類は最終日消印有効	9月1日(火)～9月11日(金) ※出願書類は最終日消印有効	
	受験票印刷 可能期間	—	—	9月17日(木) 10:00～ 10月4日(日) 16:00	9月17日(木) 10:00～ 10月3日(土) 16:00
	試験日	書類審査のみ	書類審査のみ	10月4日(日)	10月3日(土)
	合格者発表	10月22日(木)	10月16日(金)	10月9日(金)	
二次試験	出願受付期間 ※2	10月22日(木)～11月2日(月)	10月16日(金)～10月26日(月)	10月9日(金)～10月19日(月)	
	受験票印刷 可能期間	11月9日(月) 10:00～ 11月22日(日) 16:00	10月30日(金) 10:00～ 11月15日(日) 16:00	10月23日(金) 10:00～ 11月8日(日) 16:00	10月23日(金) 10:00～ 11月8日(日) 16:00
	試験日	11月22日(日)	11月15日(日)	11月8日(日) ※3	
	合格者発表	11月26日(木)	11月20日(金)	11月13日(金)	
入学 手続	手続締切日	12月10日(木)	12月4日(金)	11月27日(金)	

※1 オープンキャンパス開催時にガイダンスを行います。参加必須ではありませんが、本学をよく理解していただくために、都合のつく日に可能な限り参加してください。詳しい時間等は入試情報サイト「成城ブリッジ」に掲載します。

※2 一次試験合格者のみ出願可能。

※3 法学部と社会イノベーション学部を併願する場合、試験時間に影響が出ないように調整します。

募集人員

学部	学科	募集人員(名)
経済学部	経済学科	10
	経営学科	10
文芸学部	英文学科	若干名
	文化史学科	若干名
	マスコミュニケーション学科	若干名
	ヨーロッパ文化学科	若干名
法学部	法律学科	10
社会イノベーション学部	政策イノベーション学科	10
	心理社会学科	10

出願資格概要

各学部・学科の出願資格概要です。

詳細は各学部・学科のページに記載している「出願資格」を必ず確認してください。

出願資格① 以下のいずれかの資格を有する者、 または2027年3月31日までに有する 見込みの者		経済	文芸				法	社会 イノベーション
			英文	文化史	マスコミュニ ケーション	ヨーロッパ 文化		
(1)	高等学校又は中等教育学校を 卒業した者	○	○	○※	○※	○	○	○
(2)	通常の課程による12年の学校教育 を修了した者（通常の課程以外 の課程によりこれに相当する 学校教育を修了した者を含む。）	○	○	/	/	○	○	○
(3)	外国において、学校教育にお ける12年の課程を修了した者、又 はこれに準ずるもので文部科学 大臣の指定した者	○	○	/	/	○	○	○
(4)	文部科学大臣が高等学校の課程 と同等の課程を有するものとし て認定した在外教育施設の当該 課程を修了した者	○	○	/	/	○	○	○
(5)	専修学校の高等課程（修業年限が 3年以上であることその他の文部 科学大臣が定める基準を満たすも のに限る。）で文部科学大臣が別 に指定するものを文部科学大臣が 定める日以後に修了した者	○	○	/	/	○	○	○
(6)	文部科学大臣の指定した者	○	○	/	/	○	○	○
(7)	高等学校卒業程度認定試験規則 （平成17年度文部科学省第1号） による高等学校卒業程度認定試 験に合格した者（旧規定による大 学入学資格検定に合格した者を含 む）	/	○	/	/	○	○	○
(8)	本大学において、個別の入学資格 審査により、高等学校を卒業した 者と同等以上の学力があると認め た者で、18歳に達した者	○	○	/	/	○	○	○

※2027年3月卒業見込みの者に限る

出願資格② （出願要件）		経済	文芸				法	社会 イノベーション
			英文	文化史	マスコミュニ ケーション	ヨーロッパ 文化		
評定平均		○	/	○	○	/	/	/
英語外部検定試験スコア		○※1	○	/	/	○※2	/	○
高校時代の活動		/	/	○	/	/	/	/

※1 英語評定平均でも代替可

※2 独・仏語検定試験スコアでも代替可

出願資格照会・事前審査

〈出願資格照会〉

- ・外国の高等学校や、その他の教育機関の出身の場合、その他出願資格や出願書類等に疑問がある場合には、以下の期間中に入学センターに必ず問い合わせ、出願資格照会をしてください。

文化史学科 : 2026年6月15日(月)～2026年8月28日(金)

文化史学科以外: 2026年8月17日(月)～2026年8月28日(金)

- ・提出された書類は出願書類として扱わないので、出願時は再度提出する必要があります。なお、出願資格照会で提出された書類の返却は一切対応しないため、原本ではなく、コピーを提出してください。
- ・出願資格照会の結果、本学への出願が認められた場合には、本人宛にメールにて通知します。

〈事前審査〉

- ・P.9「出願資格概要」に記載している出願資格①の(8)で出願をする者は、事前審査を受けることが必須となるため、2026年8月17日(月)～28日(金)の期間内に入学センターに必ず問い合わせ、入試情報サイト「成城ブリッジ」の「出願資格照会・事前審査」ページを参照の上、必要書類を提出してください。

障がい等のある方への受験上の配慮について

障がいや疾病等により、本学の受験に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、以下のウェブページを参照のうえ、本学入学センターまでご相談ください。

申請書提出期限: 2026年8月4日(火)

※日常生活において、補聴器、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から、必ずご相談ください。

URL: <https://admission.seijo.ac.jp/admission/care>

成城大学入学センターの電話番号等は最終ページ参照



経済学部

● 総合型選抜の趣旨

本学経済学部では、経済・社会に対する強い関心を持ち、専門能力の向上と幅広い識見の獲得を目指し、論理的思考力を身に付けることを目指す多様な人材を求めています。そこで本選抜では、学力試験だけでは評価しにくい課題発見能力、課題解決能力、表現力、独創性、主体性、積極性、知的好奇心などの資質・能力を調査書、志願理由書、活動報告書といった資料によって判断するとともに、小論文や面接によって総合的な学力の到達度や本学部のカリキュラムへの適性を審査します。

● 出願資格（本学部で課す出願要件を含む）

成城大学経済学部を志望する者で、次の①～③の全てを満たす者。

① 以下のいずれかの資格を有する者、または2027年3月31日までに有する見込みの者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

② 高等学校生徒指導要録による5段階評定で、高等学校で学んだ全ての教科・科目の評定平均が3.8以上の者。

※外国の学校出身等、高等学校生徒指導要録による5段階評定がされていない場合は、事前に入学センターまでご相談ください。

③ 英語の能力が本学部の定める下表のいずれかの基準を満たしている者。（証明書として認める書類については、P.29に記載されている【外部検定試験に関する証明書】を確認してください）

※各英語外部検定試験のスコアは、高校入学後に取得のものに限ります。

検定試験・評定平均	利用可能なテストタイプ	基準	備考
実用英語技能検定	従来型 S-CBT S-Interview	2級合格、または準1級以上の受験かつCSEスコア1,980以上(合否は問わない)	英検 IBA は利用不可。 4技能全ての試験を受けた結果のみ有効。
GTEC	CBTタイプ	900以上	検定版、アセスメント版、GTEC Business、及びGTEC Academic は利用不可。
TOEFL	iBT [®]	(新)3以上 (旧)44以上	MyBest [®] Score は利用不可。 Home Edition 及びTOEFL ITP [®] は利用不可。
TOEIC [®] L&R	公開テスト	520以上	IP は利用不可。
英語科目の評定平均	—	4.2以上	「外国語」教科における英語の関連科目全てで算出。

※各英語外部検定試験のスコア基準に変化があったと本学が判断した場合には、その変化に合わせて基準を変更する可能性があります。また、本学において各英語外部検定試験の試験種別とスコアの基準は毎年度見直しを行っており、次年度は変更する可能性があります。

※経済学部内の学科併願は認めません。成城大学の他学部、及び他大学の総合型選抜との併願は認めます。

※「出願資格を証明する書類」において、評定平均3.8以上を客観的に証明出来ない者は出願資格を認めません。

※在学中に留学をした場合、留学中の評価は評定平均3.8以上の出願資格には算入せず、それを除いて評定平均を算出してください。ただし、留学している旨を調査書等の備考欄に記載してください。

一次試験

●出願方法

以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）を一次試験出願期間に全て行ってください。
全てを完了しない場合、出願を受け付けないことがあります。

（Ⅰ）WEB 出願手続

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、マイページを作成後、出願に必要な情報（顔写真データのアップロード含む）を登録してください。詳しくは「WEB 出願の流れ」（P.32～35）をご参照ください。

（Ⅱ）出願書類の郵送

以下の書類を全て郵送してください。
出願書類2.、3.については、本学所定の用紙を使用してください。

1. 出願資格①、②を証明する書類（調査書等）

提出する書類の要件は P.28 の「提出書類」に記載されている【調査書】、【調査書以外（調査書が発行されない経歴の方）】を確認してください。

2. 志願理由書

本学所定の用紙に、本学部への志願理由に関する以下の3つの設問について、それぞれ400字以内で記述してください。

【設問1】

大学で経済学もしくは経営学を学びたいと決意したきっかけや理由、および特に成城大学経済学部への入学を希望する理由について述べてください。

【設問2】

成城大学経済学部に入學後、卒業までの学修計画を自身の目標と併せてできる限り具体的に述べてください。その際、本学部のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーや Web で公開されている講義シラバスなどを踏まえたうえで述べてください。

【設問3】

設問2で記述した内容について学ぶことで、本大学在学中、または卒業後に自身が社会に対してどのような貢献をすることができるかと考えられますか。自身の将来の構想を述べてください。

3. 活動報告書および所有資格・活動成果を証明する資料

本学所定の用紙の【A】～【C】欄を記入してください。

【A】欄には、高校時代に取り組んだ主な活動を400字以内で説明してください。その際記載した活動における自身の貢献とその成果について具体的に記述してください。

【B】欄には、次を記入してください。

【項目(1)】「出願資格（本学部で課す出願要件を含む）」の③を証明する英語能力

【項目(2)】出願資格で指定された試験以外の外国語検定試験（TEAP など）の結果

【項目(3)】あなたが本学部のアドミッション・ポリシーと関連があると考えられる取得資格（検定試験の結果を含む）

【項目(4)】課外活動における顕著な成果

【C】欄には、【B】欄で記入出来ない取り組みや資格等を自由に記載してください。

その際、記載した取得資格や検定試験の結果については、原本と相違ない成績証明書のコピー（原本でも可）を一緒に提出してください。複数の外国語検定試験で基準を満たしている場合には、複数の成績証明書の提出を認めます。なお、提出する書類の要件は P.29 に記載されている【外部検定試験に関する証明書】を確認してください。

※原本と相違ないコピーの提出方法は P.31【原本照合について】を参照してください。

また、記載した課外活動における顕著な成果については、その成果が確認出来る資料（大会の選手名簿や参加者名簿、トーナメント表や順位表、表彰状など）の原本と相違ないコピー（原本でも可）を一緒に提出してください。添付資料を提出する場合、右肩に氏名を記入してください。

・「出願資格（本学部で課す出願要件を含む）」の③で指定された試験以外の外国語検定試験について
例えば、

TOEIC® IP テスト
TOEFL ITP® テスト
IELTS™
TEAP

などが挙げられますが、これらはあくまで例であり、表記可能な資格を上記に限るわけではありません。

・あなたが本学部のアドミッション・ポリシーと関連があると考える所有資格（検定試験の結果を含む）について
例えば、

実用数学技能検定試験（日本数学検定協会）
日商簿記検定試験（日本商工会議所）
簿記実務検定試験（全国商業高等学校協会）
IT パスポート試験（独立行政法人情報処理推進機構）
基本情報技術者試験（独立行政法人情報処理推進機構）
応用情報技術者試験（独立行政法人情報処理推進機構）

などが挙げられますが、これらはあくまで例であり、表記可能な資格を上記に限るわけではありません。

●審査方法

出願時に提出された書類による書類審査のみ。

二次試験

●出願方法

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、一次試験出願時と同様に WEB 出願を行ってください。詳しくは「WEB 出願の流れ」(P.32～35)をご参照ください。

●審査方法

(1) 審査内容

小論文：90分(1,200字程度)

個別面接：20分程度(小論文の内容説明<3～5分>および提出書類の内容に関する質疑応答)

※一次試験の結果は二次試験に反映されません。

(2) 当日の集合時刻・集合場所

WEB 出願サイト上の一次試験合格通知書にてお知らせします。

集合場所は本募集要項最終ページ「成城大学キャンパス」を併せて参照してください。

(3) 受験上の注意

ア) 試験場では試験監督者の指示に従ってください。

イ) 受験票は机の上の受験番号と並べて置いてください。

ウ) 受験票のほかに試験中机の上に置けるものは、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)、目薬です。

エ) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

オ) 集合時刻に遅刻した場合は、集合時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

カ) 面接会場には受験票以外の持ち込みは出来ません。

キ) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

ク) 緊急時(天災等)には、本学 WEB サイト上に告知を行うことがあります。

文芸学部

● 総合型選抜の趣旨

【英文学科】

英文学科では、英語学習に意欲があり、英語圏の文学や文化および英語という言語そのものについての研究に強い関心を持ち、高い英語力と国際的教養を身につけることをめざす人に入学を認めるために、書類審査と面接を通して総合的な判定と審査を行います。

【文化史学科】

文化史学科では、日本史学・民俗学・文化人類学の専門的な教育プログラムを提供し、全国各地の多様な背景をもつ学生が相互に刺激しあいながら深める学びを進めてきました。そのため、それぞれが生まれ育った地域の歴史や文化資源、地域課題について、研究する意欲のある人を求めています。本選抜では、この目的に基づき、高校時代の探究や実践に関わる書類審査と面接を通して総合的な判定と審査を行います。

【マスコミュニケーション学科】

マスコミュニケーション学科では、以下の条件を満たす人を求めています。本選抜は、この目的に基づき、書類審査と面接を通して総合的な判定と審査を行います。

- ・マスコミュニケーション学科での学びについて、旺盛な関心と探究心を有する人。特にメディア、コミュニケーション、心理、社会などについて問題を発見でき、その背景の理解や解決方法の模索に意欲的である人。
- ・高校時代、学校内外で積極的に何らかの活動に取り組み、①その活動の実績、結果を明確に自己評価し、②その活動で得た問題意識と、大学での学びを関連づけて説得的に説明できる人。

※「何らかの活動」とは、(1)学習・自主研究・各種検定試験への取り組み、(2)クラブ活動・生徒会への参加、海外への留学、(3)ボランティア活動・学外団体への参加、各種コンテスト・コンクールへの挑戦——と広範囲に捉えて構いません。

【ヨーロッパ文化学科】

ヨーロッパ文化学科では、ドイツとフランスを主軸とするヨーロッパ地域の文化（言語、歴史、哲学、文学、芸術など）について強い関心があり、ヨーロッパの現在あるいは過去の事象への興味を、大学での学びにつなげてゆける柔軟な発想と豊かな感性を持つ人を求めています。この目的を達するため、本選抜は、書類審査と面接を通して総合的な判定と審査を行います。

●出願資格（本学部で課す出願要件を含む）

学科により異なります。出願する学科の項目をご確認ください。

※文芸学部内の学科併願は認めません。成城大学の他学部、及び他大学の総合型選抜との併願は認めます。

【英文学科およびヨーロッパ文化学科】

成城大学文芸学部英文学科およびヨーロッパ文化学科を志望する者で、次の①、②の両方を満たす者。

①以下のいずれかの資格を有する者、または2027年3月31日までに有する見込みの者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

②本学部の定める次ページの表のいずれかの外部検定試験のスコアまたは合格の基準を満たしている者。（証明書として認める書類については、P.29に記載されている【外部検定試験に関する証明書】を確認してください）

※英文学科は「英語検定試験」のみのスコアまたは合格を認めます。

※ヨーロッパ文化学科は「英語検定試験」および「独語・仏語検定試験」のスコアまたは合格を認めます。

※出願期間末日より2年以内に受験した試験結果のみ有効です。

< 英語検定試験 >

検定試験	利用可能なテストタイプ	基準	備考
実用英語技能検定	従来型 S-CBT S-Interview	2級合格、または準1級以上の受験かつCSEスコア1,980以上(合否は問わない)	英検 IBA は利用不可。 4 技能全ての試験を受けた結果のみ有効。
TEAP	4 技能パターン	225 以上	2 技能パターンは利用不可。 CBT タイプは利用不可。
GTEC	検定版 CBT タイプ	930 以上	アセスメント版、GTEC Business、 及び GTEC Academic は利用不可。
TOEFL	iBT [®]	(新)3 以上 (旧)44 以上	MyBest [®] Score は利用不可。 Home Edition 及び TOEFL ITP [®] は 利用不可。
IELTS [™]	Academic Module	4.0 以上	One Skill Retake を利用したスコアは 利用不可。 General Training Module 及び IELTS Online は利用不可。
ケンブリッジ英語検定	Cambridge English スケール ※ A2 Key, B1 Preliminary, 及び B2 First については for Schools も利用可。 ※ Linguaskill は公開受験の スコアのみ利用可。	140 以上	Cambridge English スケールのスコ アが基準点を満たしていれば、各試験 種別の合否は問わない。 Linguaskill は自宅受験は利用不可。
TOEIC [®] L&R/ TOEIC [®] S&W	公開テスト IP テスト	合計 1,150 以上	TOEIC [®] L&R のスコアと TOEIC [®] S&W のスコアを 2.5 倍にして合算し たスコアで判定。 TOEIC [®] L&R 及び TOEIC [®] S&W に おいて、それぞれで同一試験日のスコ アのみ有効とする。(TOEIC [®] L&R に おいて複数日の Listening・Reading のスコアを合算すること、TOEIC [®] S&W において複数日の Speaking・ Writing を合算することは不可。)

< 独語検定試験 >

検定試験	基準
ドイツ語技能検定	4 級以上
ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験	A1 以上 (Goethe Zertifikat A1)

< 仏語検定試験 >

検定試験	基準
実用フランス語技能検定	4 級以上
DELFD/DALF	A1 以上

※各外部検定試験のスコア基準に変化があったと本学が判断した場合には、その変化に合わせて基準を変更する可能性があります。また、本学において各外部検定試験の試験種別とスコアの基準は毎年度見直しを行っており、次年度は変更する可能性があります。

【文化史学科】

成城大学文芸学部文化史学科を志望する者で、次の①～③のすべてを満たす者。

- ①高等学校又は中等教育学校を2027年3月に卒業見込みの者
- ②高等学校（又はその相当期間）の国語・英語・地歴公民の評定平均が4.0以上の者
- ③高校時代、学校内外で、**①地域史・地域文化・地域課題の探究**、または、**②地域史の発信、地域文化の継承・発展・発信、地域課題の解決に関わる実践**に取り組んだ者

以上の下線①および下線②としては、以下のものを想定します。総じて地域史・地域文化・地域課題に関わる探究と実践を広範囲に捉えて構いません。

①「地域史・地域文化・地域課題の探究」

- (1) 高等学校又は中等教育学校における正課活動として行われた、調査や分析・考察を伴う学習や自主研究への取り組み
例) 国内外を対象とする「総合的な探究の時間」の学習成果や卒業研究、等
- (2) 高等学校又は中等教育学校における課外活動で行われた、調査や分析・考察を伴う学習や自主研究への取り組み
例) 郷土研究部、歴史研究部、民俗学研究会、郷土芸能クラブ等の部活動の成果
- (3) 学校外の団体への参加、またはそれらとの連携を通して行われた、調査や分析・考察を伴う学習や自主研究への取り組み
例) 学会・郷土研究会等の研究団体、行政や博物館、NPO、商店街・企業等の団体への参加や連携
- (4) 出願に向けて新規に書き下ろされた12,000字以上の論文
- (5) 以上に含まれないが、成城大学文化史学科の審査担当者が、地域史・地域文化・地域課題の探究活動として意義あるものと認めたもの

②「地域史の発信、地域文化の継承・発展・発信、地域課題の解決に関わる活動」

- (1) 高等学校又は中等教育学校における正課活動・正課外活動を通して行われた地域史の発信、地域文化の継承・発展・発信、地域課題の解決に関わる活動
例) 授業や部活動を通して行われた地域の魅力のPR活動、等
- (2) 行政や博物館、NPO、商店街・企業等と連携しつつ行われた地域史の発信、地域文化の継承・発展・発信、地域課題の解決に関わる活動
例) 行政やNPOによるまちづくりへの参加、等
- (3) 個人で、または保存団体や実施団体への所属を通して行なわれた、祭礼や芸能、工芸等の地域独自の文化の担い手としての活動
例) 居住地の祭礼の運営、芸能の上演、各種の作品制作、等
- (4) 以上に含まれないが、成城大学文化史学科の審査担当者が、地域史の発信、地域文化の継承・発展・発信、地域課題の解決に関わる活動として意義あるものと認めたもの

※「地域」および「歴史」「文化」「社会」の指示対象は、個々の受験者の解釈に委ねます。柔軟に捉えて構いません。「地域」の対象は国内・国外を問いません。

※「発信」「継承・発展・発信」「課題の解決」の指示対象は、個々の受験者の解釈に委ねます。柔軟に捉えて構いません。ただし、いずれであっても、その活動についてなんらかの資料によって説得力をもって説明できるものであることを求めます。

※ ①ないし②のいずれによって応募する場合においても、志願者個人のみならず、グループや団体として取り組んだものを想定して構いません。ただし、当該活動において志願者が果たした役割や成果物における担当箇所をなんらかのかたちで明示できることを求めます。

【マスコミュニケーション学科】

成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科を志望する者で、次の①、②の両方を満たす者。

- ①高等学校又は中等教育学校を2027年3月に卒業見込みの者
- ②高等学校（又はその相当期間）の全体の評定平均が3.7以上の者

一次試験

●出願方法

以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）を一次試験出願期間に全て行ってください。
全てを完了しない場合、出願を受け付けないことがあります。

（Ⅰ）WEB 出願手続

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、マイページを作成後、出願に必要な情報（顔写真データのアップロード含む）を登録してください。詳しくは「WEB 出願の流れ」（P.32～35）をご参照ください。

（Ⅱ）出願書類の郵送

【英文学科およびヨーロッパ文化学科】

以下の書類を全て郵送してください。

出願書類 3. については、本学所定の用紙を使用してください。

1. 出願資格①を証明する書類（調査書等）

提出する書類の要件は P.28 の「提出書類」に記載されている【調査書】、【調査書以外（調査書が発行されない経歴の方）】を確認してください。

2. 出願資格②を証明する書類（証明書等）

証明書として認める書類については、P.29 に記載されている【外部検定試験に関する証明書】を確認してください。また、例えば出願資格②を証明する外部検定試験とは別の試験種別のスコア等、アピールしたいスコアは追加で提出しても差しつかえありません。

3. 志願理由書

【英文学科】

以下の 3 つの項目について、それぞれ 400 字以内にまとめ、具体的に記してください。

- (1) 英文学科で何を学びたいか。
- (2) 英文学科での学習・研究に向けて、どのような勉強をしているか。
- (3) 異文化理解のためにどのような勉強や体験をしてきたか。

【ヨーロッパ文化学科】

以下の 3 つの項目について、それぞれ指定の字数に従ってまとめ、具体的に記してください。

- (1) ヨーロッパの過去あるいは現在について、あなたが関心をもっていることは何でしょうか(100 字以内)。
- (2) (1)で記した事柄や問題について、1 冊または何冊かの本を読み、本の内容を紹介したうえで自分自身の考えを述べてください(800 字以内)。なお、本のタイトル、著者名を明記すること。
- (3) (1)および(2)をふまえ、本学科で学びたいこと、そして本学科を志願する理由を述べてください(300 字以内)。

【文化史学科】

以下の 1. の書類を郵送し、2.、3. の書類を WEB 提出してください。

1. 出願資格①・②を証明する書類（調査書）

提出する書類の要件は P.28 の提出書類に記載されている【調査書】を確認してください。

2. 出願資格③を証明する書類（地域史・地域文化・地域課題に関わる活動を証明する資料）

※書式自由<PDF 形式>、分量不問

上記志願理由書に記載された活動を証明する資料を提出してください。冊子やプレゼンテーション資料等の学習や活動の成果物、書き下ろされた論文、公的な活動記録、コンテストやコンクールの結果など、自身がどのような活動に従事したかを説明・証明し、アピールすることのできる資料を想定しています。資料はスキャンするなどして PDF 化したうえで、WEB 出願サイトからアップロードしてください。

3. 志願理由書

※書式自由< PDF 形式>、A4 サイズ1 ページ

高校時代に、地域史・地域文化・地域課題に関わるどのような活動に従事したのか、それをふまえて文化史学科を志願する理由、入学したら具体的にどのようなことを学びたいかを、A4 サイズ1 ページで書いてください。イラストや写真を使っても構いませんので、自由にプレゼンテーションしてください。作成した書類は PDF 化したうえで、WEB 出願サイトからアップロードしてください。

※提出後に書類に受験番号を採番するため、右肩に余白（横 4cm、縦 1cm 程度）を残してください。また、書類の冒頭にも氏名を記してください。

【マスコミュニケーション学科】

以下の 1. の書類を郵送し、2.、3. の書類を WEB 提出してください。

1. 出願資格①・②を証明する書類（調査書）

提出書類の要件は、P.28 の提出書類に記載されている【調査書】を確認してください。

2. 志願理由・学習計画書（書式自由< PDF 形式>、A4 サイズ1 ページ）

マスコミュニケーション学科を志願する理由、入学したら具体的にどのようなことを学びたいかを、A4 サイズ1 ページで書いてください。イラストや写真を使っても構いませんので、自由にプレゼンテーションしてください。作成した書類は PDF 化したうえで、WEB 出願サイトからアップロードしてください。

※提出後に書類に受験番号を採番するため、右肩に余白（横 4cm、縦 1cm 程度）を残してください。また、書類のどこかに氏名を記入してください。

3. 自己評価書（書式自由< PDF 形式>、A4 サイズ1 ページ ※別添資料はページ数に含みません。）

高校時代において、学校内外で積極的に取り組んだ活動の報告とそれに対する自己評価を記してください。イラストや写真を使っても構いませんので、自由にプレゼンテーションしてください。作成した書類は PDF 化したうえで、WEB 出願サイトからアップロードしてください。語学のスコアや資格の証明、コンテストやコンクールの結果などを別に添付することは可能です。別添資料も提出する場合は、A4 サイズで自己評価書と同ファイルにまとめて作成してください。

※提出後に書類に受験番号を採番するため、右肩に余白（横 4cm、縦 1cm 程度）を残してください。また、書類のどこかに氏名を記してください。

●審査方法

出願時に提出された書類による書類審査のみ。

二次試験

●出願方法

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、一次試験出願時と同様に WEB 出願を行ってください。詳しくは「WEB 出願の流れ」(P.32～35)をご参照ください。

●審査方法

(1) 審査内容

面接審査を行います。

※一次試験の結果も含めて総合的に選考します。

(2) 当日の集合時刻・集合場所

WEB 出願サイト上の一次試験合格通知書にてお知らせします。

集合場所は本募集要項最終ページ「成城大学キャンパス」を併せて参照してください。

(3) 試験の流れ

【英文学科】

特定のテーマについての資料(日本語)を読み、その内容を要約し、自分の意見をまとめた上で個人面接を行います。

【文化史学科】

1人15分。最初の5分(時間厳守)を高校時代の活動内容と志望動機のプレゼンテーションの時間にあてます。その際、パワーポイントや模造紙などを事前に準備し、当日使用しても構いません。パソコン(Windows)、ホワイトボード(黒、赤、青のペン)は面接会場に用意してあります。残りの10分を担当者からの質疑の時間とします。

【マスコミュニケーション学科】

1人15分。最初の5分(時間厳守)を志望動機のプレゼンテーションの時間にあてます。その際、パワーポイント、模造紙、説明パネルなどを事前に準備し、当日使用しても構いません。パソコン(Windows)、ホワイトボード(黒、赤、青のペン)は面接会場に用意してあります。残りの10分を担当者からの質疑の時間とします。

【ヨーロッパ文化学科】

個人面接を行います。(面接会場には受験票以外の持ち込みは出来ません)

(4) 受験上の注意

ア) 集合時刻に遅刻した場合は、集合時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

イ) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

ウ) 緊急時(天災等)には、本学 WEB サイト上に告知を行うことがあります。

法学部

● 総合型選抜の趣旨

本選抜は、法律・政治を中心とする社会問題に強い関心を持ち、柔軟で個性豊かな発想を持つ人に入学を認めるために、書類審査・筆記試験・面接を通じて総合的な判定・審査を行おうとするものです。

● 出願資格

成城大学法学部を志望する者で、以下のいずれかの資格を有する者、または2027年3月31日までに有する見込みの者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

※成城大学の他学部、及び他大学の総合型選抜との併願を認めます。

一次試験

● 出願方法

以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）を一次試験出願期間に全て行ってください。
全てを完了しない場合、出願を受け付けないことがあります。

（Ⅰ）WEB 出願手続

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、マイページを作成後、出願に必要な情報（顔写真データのアップロード含む）を登録してください。詳しくは「WEB 出願の流れ」（P.32～35）をご参照ください。

（Ⅱ）出願書類の郵送

以下の書類を全て郵送してください。
出願書類 2. については、本学所定の用紙を使用してください。

1. 卒業証明書又は卒業見込み証明書（厳封）

※卒業見込み者のうち、調査書内に卒業見込みと記載があれば調査書でも差し支えない。ただし、調査書で提出された場合であっても、成績は評価対象としない。

※卒業見込み者は、出願書類提出時点で掲載可能な全ての情報が掲載されたものに限る（厳封に限る）。

※既卒者は、卒業日以降であれば発行年月日を問わない（厳封に限る）。

※高等学校卒業程度認定試験合格者（見込者）は、「合格（見込）成績証明書」を提出。

※外国の学校を卒業（見込み）の者はコピーでの提出でも差し支えない。

2. 志願理由書

本学所定の用紙を使用し、記入してください。

●審査方法

(1) 審査内容

- ア) 書類審査：志願理由書に基づく審査
- イ) 筆記試験による文章読解力・表現力審査（90分）：6,000字から10,000字程度の論理的かつ主張のある文章を提示し、客観的かつ批判的な読解力および読解に基づく自己の意見の表現力を審査します。

(2) 当日の集合時刻・集合場所

- ア) 当日の集合時刻 9:30
- イ) 当日の集合場所 受験票にて通知します。
(集合場所は本募集要項最終ページ「成城大学キャンパス」を併せて参照してください。)

(3) 受験上の注意

- ア) 試験場では試験監督者の指示に従ってください。
- イ) 受験票は机の上の受験番号と並べて置いてください。
- ウ) 受験票のほかに試験中机の上に置けるものは、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- エ) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
- オ) 集合時刻に遅れた場合は、集合時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- カ) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、前述のとおり受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- キ) 緊急時（天災等）には、本学WEBサイト上に告知を行うことがあります。

二次試験

●出願方法

成城大学WEB出願サイトにアクセスし、一次試験出願時と同様にWEB出願を行ってください。詳しくは「WEB出願の流れ」（P.32～35）をご参照ください。

●審査方法

(1) 審査内容

面接による資料分析力・表現力審査：特定のテーマについての資料を読み（約15分）、その資料をもとに議論を論理的に展開することが出来るか、社会問題に関心があるかを個人面接（約20分）で審査します。なお、面接の中では、提出された志願理由書に基づいての質疑応答も行います。

※二次試験では、面接審査の結果のみで、選考が行われます。

(2) 当日の集合時刻・集合場所

WEB出願サイト上の一次試験合格通知書にてお知らせします。
集合場所は本募集要項最終ページ「成城大学キャンパス」を併せて参照してください。

(3) 受験上の注意

- ア) 面接会場には受験票および当日の配付資料以外の持ち込みは出来ません。
- イ) 集合時刻に遅れた場合は、集合時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ウ) 緊急時（天災等）には、本学WEBサイト上に告知を行うことがあります。

社会イノベーション学部

● 募集する人材

社会イノベーション学部、及び政策イノベーション学科又は心理社会学科の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に示される学力、関心等を有していることに加え、以下のような人を求めています：

- ・自らの感性を活かし、進んで色々な機会を捉えてチャレンジする人
- ・イノベーションを通じて社会を変革することに興味があり、それに関連する課題の解決に関心がある人
- ・イノベーションを生み出す政策・戦略や、イノベーションが人々に与える影響を心理あるいは社会の分野から学びたい人
- ・基礎的学力の上に、創造的な発想力・応用力を養っていきたいと考えている人
- ・国際的視野を持ち、社会に積極的に情報発信し、貢献できる人

● 出願資格（本学部で課す出願要件を含む）

成城大学社会イノベーション学部を志望する者で、次の①、②の両方を満たす者

① 以下のいずれかの資格を有する者、または 2027 年 3 月 31 日までに有する見込みの者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

※社会イノベーション学部内の学科併願は認めません。成城大学の他学部、及び他大学の総合型選抜との併願は認めず。

② 本学部の定める次ページの表のいずれかの英語外部検定試験で 4 技能全ての試験を受けた結果のスコアを証明できる者（証明書として認める書類については、P.29 に記載されている【外部検定試験に関する証明書】を確認してください）。

ただし、出願時に提出する英語外部検定試験の証明書は 1 種類（1 通）に限ります。

検定試験	利用可能なテストタイプ	基準	備考
実用英語技能検定	従来型 S-CBT S-Interview	1,950 以上	英検 CSE スコアが基準点を満たしていれば、各級の合否は問わない。 英検 IBA は利用不可。
TEAP	4 技能パターン	225 以上	2 技能パターンは利用不可。 CBT タイプは利用不可。
GTEC	検定版 CBT タイプ	930 以上	アセスメント版、GTEC Business、 及び GTEC Academic は利用不可。
TOEFL	iBT [®]	(新)3 以上 (旧)44 以上	MyBest [®] Score は利用不可。 Home Edition 及び TOEFL ITP [®] は 利用不可。
IELTS [™]	Academic Module	4.0 以上	One Skill Retake を利用したスコア は利用不可。 General Training Module 及び IELTS Online は利用不可。
ケンブリッジ英語検定	通常版 ※ A2 Key, B1 Preliminary, 及び B2 First については for Schools も利用可。 ※ Linguaskill は公開受験の スコアのみ利用可。	140 以上	Cambridge English スケールのスコア が基準点を満たしていれば、各試験 種別の合否は問わない。 Linguaskill は自宅受験は利用不可。

※各英語外部検定試験のスコア基準に変化があったと本学が判断した場合には、その変化に合わせて基準を変更する可能性があります。また、本学において各英語外部検定試験の試験種別とスコアの基準は毎年度見直しを行っており、次年度は変更する可能性があります。

備考 1 各英語外部検定試験について、実用英語技能検定の一次試験免除の場合を除いて、同一試験日の 4 技能のスコア合計点のみ利用可 (4 技能でないものは利用不可)。また、自宅受験版は全て利用不可。

備考 2 各英語外部検定試験は、2024 年 9 月以降に受験したものかつ上記の表の記載に対応するスコアのみ利用可。

一次試験

● 出願方法

以下の（Ⅰ）、（Ⅱ）を一次試験出願期間に全て行ってください。
全てを完了しない場合、出願を受け付けないことがあります。

（Ⅰ）WEB 出願手続

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、マイページを作成後、出願に必要な情報（顔写真データのアップロード含む）を登録してください。詳しくは「WEB 出願の流れ」（P.32～35）をご参照ください。

（Ⅱ）出願書類の郵送

以下の 1.、2. の書類を郵送し、3. の書類を WEB 提出してください。
出願書類 3. については、本学所定のファイルを使用してください。

1. 出願資格①を証明する書類（調査書等）

提出する書類の要件は P.28 の「提出書類」に記載されている【調査書】、【調査書以外（調査書が発行されない経歴の方）】を確認してください。

2. 出願資格②を証明する書類（証明書等）

証明書として認める書類については、P.29 に記載されている【外部検定試験に関する証明書】を確認してください。

3. 志願理由書（WEB 出願サイト内「書類の提出」からファイルをアップロードすること。）

本学所定のファイルを用い、1,200 字程度かつ 1,400 字以内で欄内に収まるよう入力してください。なお、改行は 1 回につき 1 字として扱われます。

※ 入力には Adobe Acrobat Reader を使用してください。

● 審査方法

（1）審査内容

ア）書類審査：出願書類に基づく審査

イ）論述審査（90 分）：課題図書に基づいて出題します。課題図書については、以下を参照してください。

※課題図書を試験中に参照することはできません。

◎論述審査の課題図書

植原 亮 (2025)『科学的思考入門』（講談社現代新書） 東京：株式会社 講談社

ふだん使いの「科学」で思考の土台を強くする。自分の頭で考えるために科学という営みの本質を楽しく学べる最良の入門書。有害な情報から身を守り、無意識のバイアスを避けるには？情報過剰社会を生きる私たちに必須の「免疫」ー日常・仕事で威力を発揮する「科学的思考」。因果関係の正しい理解から、認知バイアス、アブダクションまで豊富な例や問題でわかりやすく解説。（内容紹介文より転載）

※課題図書は、審査までに、全体の組立まで含めて丁寧に読んでおいてください。

（2）当日の集合時刻・集合場所

ア）当日の集合時刻 9：30

イ）当日の集合場所 受験票にて通知します。

（集合場所は本募集要項最終ページ「成城大学キャンパス」を併せて参照してください。）

（3）受験上の注意

ア）試験場では試験監督者の指示に従ってください。

イ）受験票は机の上の受験番号シールと並べて置いてください。

- ウ) 受験票のほかに試験中机の上に置けるものは、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- エ) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
- オ) 集合時刻に遅刻した場合は、集合時刻から 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- カ) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- キ) 緊急時（天災等）には、本学 WEB サイト上に告知を行うことがあります。

二次試験

●出願方法

成城大学 WEB 出願サイトにアクセスし、一次試験出願時と同様に WEB 出願を行ってください。詳しくは「WEB 出願の流れ」（P.32～35）をご参照ください。

●審査方法

（1）審査内容

- ア) 書類審査（出願書類による）
- イ) 面接審査

※一次試験の結果も含めて、総合的に選考します。

（2）当日の集合時刻・集合場所

WEB 出願サイト上の一次試験合格通知書にてお知らせします。

集合場所は本募集要項最終ページ「成城大学キャンパス」を併せて参照してください。

（3）受験上の注意

- ア) 面接審査試験場には受験票以外の持ち込みはできません。
- イ) 集合時刻に遅刻した場合は、集合時刻から 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ウ) 緊急時（天災等）には、本学 WEB サイト上に告知を行うことがあります。

提出書類

【調査書】

<卒業（修了）見込の場合>

出願書類提出時点で掲載可能な全ての情報が掲載されたものかつ、出身学校長によって交付されたもので、厳封されたもの。

※卒業見込者は高等学校1学年から3学年1学期又は前期までのものを含めてください。

※2学期制の高等学校など、本人の責めに抛らない理由で第3学年1学期末まで、又は前期末までの成績が記載された調査書を提出できない場合、第2学年時の学業成績で条件を満たすもので構いません。出願の際は、調査書備考欄に出願期間内に第3学年前期までの成績を確定することができない旨を明記してください。

※留学などで空白期間がある調査書を提出する際は、留学先の成績証明書等を合わせて提出してください。留学の証明書等はコピーでも構いません。

<卒業（修了）済の場合>

出身学校長によって交付されたもので、厳封されたもの。

※卒業後に発行されたものであれば発行年月日は問いません。

※留学などで空白期間がある調査書を提出する際は、留学先の成績証明書等を合わせて提出してください。留学の証明書等はコピーでも構いません。

【調査書以外（調査書が発行されない経歴の方）】

<高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格（見込）の場合>

「合格（見込）成績証明書」

※「合格証明書」でも可。

※提出の際、封筒の表に鉛筆で氏名を記載してください。

<外国の高等学校や、その他の教育機関の出身の場合>

「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」

※出願資格の事前確認を行いますので、定められた期間内（P.10参照）に入学センターまでお問い合わせください。

※外国の高等学校あるいはそれに準じる学校に在学中の者は、提出した書類よりも最新の情報が掲載されたものが取得できる場合には、準備でき次第速やかに書類を再提出してください。

※バカロレア資格者は「資格証書」のコピーでも構いません。

※日本と外国の双方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校在学中の「成績証明書」も併せて提出してください。

※自身が在籍する（した）教育機関が大学入学資格を有するかは文部科学省HPで事前に確認してください。

<本学における個別の出願資格審査の場合>

事前審査が必須となりますので、定められた期間内（P.10参照）に入学センターまでお問い合わせください。

【外部検定試験に関する証明書】

出願資格として認められている検定試験については、各学部・学科により異なります。必ず、各学部・学科の出願資格を確認してください。

検定試験	提出書類	備考	
実用英語技能検定	<p>以下のいずれか 1 つをご提出ください。</p> <p>①個人成績表（コピー可） ②合格証明書（コピー可） ③英検 CSE スコア証明書（コピー可） ④デジタル証明書の Web 画面（プレビュー画面）※をプリントアウトしたもの</p> <p>※ json 形式を印刷したものは不可。プレビュー画面で表示されるすべての項目が出力されるよう印刷すること。その際、ページが複数枚にわたっても構わない。</p>	<p>WEB 出願時に、「受験年度」、「受験回」、「個人番号（7桁）」を必ず入力してください。入力された内容に基づき、試験実施団体の成績ダウンロードシステムを利用して成績データを取得します。WEB 出願システム及び試験実施団体において登録されている生年月日に誤りがある場合、成績データをダウンロードできず、利用が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。また、試験実施団体における生年月日の確認及び訂正方法は、下記の試験実施団体のウェブサイトを確認してください。</p> <p>https://www.eiken.or.jp/eiken/nyushi/forstudents/index.html</p>	
TEAP	OFFICIAL SCORE REPORT（コピー可）	<p>WEB 出願時に、「Registration ID（受験番号）（11桁）」を必ず入力してください。</p> <p>入力された内容に基づき、試験実施団体の成績ダウンロードシステムを利用して成績データを取得します。WEB 出願システム及び試験実施団体において登録されている生年月日に誤りがある場合、成績データをダウンロードできず、利用が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。また、試験実施団体における生年月日の確認及び訂正方法は、下記の試験実施団体のウェブサイトを確認してください。</p> <p>https://www.eiken.or.jp/teap/faq.html</p>	
GTEC	GTEC CBT	<p>以下のいずれか 1 つをご提出ください。</p> <p>①OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（コピー可） ②マイページの「受検履歴・オフィシャルスコア証明書追加申請履歴」の Web 画面をプリントアウトしたもの</p>	<p>WEB 出願時に、「Test ID（9桁）」を必ず入力してください。入力された内容に基づき、試験実施団体の成績ダウンロードシステムを利用して成績データを取得します。WEB 出願システム及び試験実施団体において登録されている生年月日に誤りがある場合、成績データをダウンロードできず、利用が認められない場合があります。</p> <p>正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。また、試験実施団体における生年月日の確認及び訂正方法は、下記の試験実施団体のウェブサイトを確認してください。</p> <p>https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/faq/</p>
	GTEC 検定版	<p>以下のいずれか 1 つをご提出ください。</p> <p>①「大学入学成績連携システム」の Web 画面をプリントアウトしたもの ②「Benesse マナビジョン」の Web 画面をプリントアウトしたもの</p>	<p>WEB 出願時に、「成績番号（9桁）」を必ず入力してください。入力された内容に基づき、試験実施団体の成績ダウンロードシステムを利用して成績データを取得します。WEB 出願システム及び試験実施団体において登録されている生年月日に誤りがある場合、成績データをダウンロードできず、利用が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。また、試験実施団体における生年月日の確認及び訂正方法は、下記の試験実施団体のウェブサイトを確認してください。</p> <p>https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/gradenumber/</p>

表は次ページに続く

前ページの続き

検定試験	提出書類	備考
TOEFL	Test Taker Score Report (PDF版) をプリントアウトしたもの	WEB出願を行う前までに、TOEFLの受験者専用サイトのアカウント上で、電子送信によるスコアの直送手続をしてください。本学のInstitution Codeは「8689」です。 なお、大学側でスコアの確認ができるようになるまでに2日間程度かかります。出願期間前でも受理しますので、お早目に手続してください。
IELTS™	以下のいずれか1つをご提出ください。 ① Test Report Form (原本) ② Test Report Form (コピー) ③ eTest Report Form をプリントアウトしたもの	②・③で提出する場合は、出願締切日必着で以下の送付先に大学直送手続を行い(電子送信不可。紙の郵送による直送手続を行うこと)、直送依頼が完了していることがわかるもの(通知メールやマイページのプリントアウト等)を出願書類に同封してください。 送付先：〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20 成城大学 入学センター行
ケンブリッジ英語検定	以下のいずれか1つをご提出ください。 ① certificate (原本) ② certifying statement (原本)	—
TOEIC® L&R/ TOEIC® S&W	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (原本)	—
ドイツ語技能検定	「合格証明書」又はそれに準ずるもの(原本)	—
ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験		—
実用フランス語技能検定		—
DELTA/DALF		—

出願手続

経済学部

文芸学部

法学部

社会イノベーション学部

提出書類・WEB出願

入学手続

入学検定料の返還・入学辞退

【原本照合について】

外部検定試験やその他活動の証明書のうち、コピーの提出を認めていないものは「原本」又は「原本からの正しい複製であることが出身学校によって証明されたもの（Certified True Copy）」を提出してください。なお、いったん提出された出願書類は返却しません。

出身学校で原本照合を受ける場合、以下の要領で準備してください。

証明書の原本を学校へ提出し、次の通り作成をするよう依頼してください。

- ① 原本であることを確認のうえ、コピー（カラー、白黒いずれも可）をとってください。
- ② コピーの余白スペースに「原本と相違ないことを証明する」旨を記入し、出身学校の印（学校長の印）を押印してください。
- ③ コピーはA4の紙で作成し、片面コピーとします。原本がA4より大きい場合は縮小コピーをしても構いません。

※出身学校の印がない場合は、学校長か担当者が直筆でサインをしたもので構いません。

※出身学校が海外等の理由により「原本からの正しい複製であることが出身学校によって証明されたもの（Certified True Copy）」を作成出来ない場合には、本学で原本照合を行うので、以下の要領で提出してください。

【1】郵送での原本照合を行う場合

以下の書類を任意の封筒に入れ、入学センターまで郵送してください（封筒に「総合型選抜 原本照合依頼書類 在中」と朱記してください）。

- ① 原本照合を希望する証明書類の原本
- ② 上記証明書類の写し（コピー）
- ③ 「出願を希望するので証明書の原本照合及び証明書原本の返却を希望する」旨の書面
※様式任意。メモ程度のもので構いません。
- ④ 返信用封筒

※本学から当該証明書の原本および原本照合済のコピーを返送する際の宛先を間違いのないよう記入し、必要な料金分の切手を貼付してください。本学での確認が済み次第、書類原本を返送します。

【2】出願書類に同封する場合

出願書類に加え、【1】①～④と同じ書類（一部出願書類と重複あり）を同封して郵送してください。

※出願書類の精査が終わるまで書類原本の返送はできませんのでご注意ください。

【注意事項】

返送料について本学は負担しません。また、郵送に伴う書類の紛失や返送の遅延等に伴う損害について本学は一切責任を負いません。

WEB出願の流れ

パソコン・スマートフォン・タブレットからインターネット上で出願情報の登録を行います。
出願登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して出願手続の完了となります。
出願登録を完了させただけでは、出願したことになりませんのでご注意ください。



STEP1 事前準備

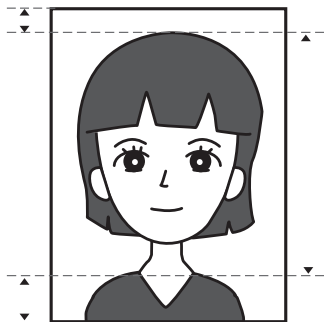
- ①封筒（市販の角2封筒（角形2号）をご用意ください）
- ②提出書類（募集要項記載の書類をご用意ください）
- ③メールアドレス（登録に必須です。受験者が常時受信可能なアドレスをご用意ください。）
※メールアドレス登録時に有効性（障害なくメールが届くか否か）のテスト（疎通確認）を行います。
docomoやau、SoftBankなどの携帯通信キャリアのメールアドレスを登録する場合は事前に「@eraku-p.jp」「@seijo.jp」からの受信を許可してください。
- ④顔写真データ
※顔写真は試験時に本人確認用として使用します。また、入学時の学生証にも使用するので、私服での撮影をお勧めします。
※顔写真データはWEB出願時に4：3の比率にトリミングして登録してもらいます。

登録する顔写真データの規格

- (1) 本人のみが写っているもの
 - (2) 出願前3か月以内に撮影したもの
 - (3) カラーのみ可（モノクロ不可）
 - (4) 上半身、正面向き、脱帽、マスクなし、背景のないもの
 - (5) ピントが合っていて、顔が鮮明に写っているもの
 - (6) 画像に加工を施していないもの
 - (7) メガネ着用の場合、フレームが目にならなっていないもの（レンズは無色透明に限る）
 - (8) ファイルサイズは10MB以下
 - (9) JPEGもしくはPNG形式のもの
- ※顔が大きすぎる又は小さすぎる、髪の毛が顔にかかっているなど、顔が判別しづらいものは受け付けません。

○ 受け付けできる顔写真例

- 上部に隙間がある
- 水平かつ正面を向いている
- 顔の大きさが少なくとも3分の1以上ある
- 両目の瞳が確認できる
- 肩の一部が写っている
- 背景と人物の区別ができる

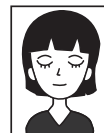


✕ 受け付けできない顔写真例

- 目が隠れている、前髪又は影が目にかかっている
- 被写体が小さい ● ピントが合っていない ● 画質が粗い
- 眼鏡が反射している、カラーレンズやサングラスで目が確認できない
- 目を閉じている ● 影が大きい ● 背景が暗い
- データ容量が極端に小さい(100KB以下)など



髪が目にかかっている



目を閉じている



メガネが反射している



サングラスやマフラーを着用している



顔が近すぎる



顔が遠すぎる

背景がある
(カーテン等が映っている)

アプリ等で加工している

※顔写真に不備があった場合、再提出になる場合があります。

STEP2 成城大学 WEB 出願サイトにアクセス

成城大学入試情報サイト「成城ブリッジ」の「WEB 出願」ページから、WEB 出願サイトへアクセスしてください。初めて出願する方は、「初めて出願の方」を選択し、個人登録を行ってください。「ログイン ID」が発行されます。既に個人登録が済んでいて「ログイン ID」を発行済の方は、「マイページへログイン」をクリックしてください。

成城ブリッジ WEB 出願ページ <https://admission.seijo.ac.jp/web>



WEB 出願サイトのログインにはワンタイムパスキーを使用します。

セキュリティ対策のため、ログイン時に一度だけ使えるワンタイムパスキーを、ログインの都度発行しています。

STEP3 出願情報・個人情報の入力

① 選抜方式・学部・学科選択

画面の指示に従って選抜方式を選択し、その後に出願する学部・学科を選択してください。出願内容と入学検定料を確認し、正しければ「進む」をクリックしてください。

② 個人情報の入力・入学検定料の支払い方法選択

出身高校、受験者の個人情報、メールアドレス、顔写真などを入力・選択・アップロードし、確認した後で、入学検定料支払い方法を選択して「出願登録を完了する」をクリックして出願登録を完了してください。

確定後、出願登録完了の画面が表示されます(支払い方法にクレジットカードを選択した場合は、カード番号入力画面を経由します)。



※「ログインID」とは出願登録を行った個人を識別する専用の番号、「WEB受付番号」とはWEB出願サイトにおいて出願登録単位に振られる番号の事です。

※出願登録完了の画面にも同じ情報が表示されます。画面に表示された「ログインID」は必ずメモしておいてください。マイページへのログインに必要です(「WEB受付番号」は処理上の番号なのでメモ等は不要です)。

※入学検定料のお支払い後は出願内容等の変更は一切できませんので、ご注意ください。

※クレジットカードを選択した場合、支払い完了と同時に情報が確定となります。

出願内容等の変更は一切できませんので、くれぐれもご注意ください。

※メールが到着しない場合は、WEB出願サイトの「よくある質問」に記載されている、メールに関する項目を確認してください。

それでも問題が解決しない場合は、P.35記載の「E楽サポートセンター」に「メールが届かない」旨を相談してください。

STEP4 入学検定料のお支払い 支払い方法として、以下の支払い窓口が選択できます。

詳しい支払い方法は、WEB出願サイトの「支払い方法」ページで確認できます。また、出願登録完了メールにも記載されますので参考にしてください。

① コンビニエンスストア 現金支払い

コンビニ設置のATMは利用できません。現金のみの取扱いとなります。

※出願書類郵送に利用する宛名ラベルを発行できるようになるまでに、店頭でお支払いをされたから2時間程度かかる場合がありますので、余裕をもってお支払いください。

[レジへ]	FamilyMart [マルチコピー機]	LAWSON [Loppi]	[レジへ]	Seicomart [レジへ]
店員の方へ「インターネット支払い」をする旨を伝え、「払込票」を伝えます。発行した「払込票」を渡しても構いません。	[代金支払い]を選択 [番号入力]を選択 [第1番号(5桁)] [第2番号(12桁)]を入力	[各種番号をお持ちの方]を選択 [受付番号(6桁)]を入力し、 [次へ]ボタンを押す お申込み時に登録した電話番号を入力し [次へ]を押す 内容確認後、 [了解]ボタンを押す	レジで「オンライン決済」を申し込む レジ画面で決済番号を入力 内容確認後、レジでお支払い	レジで「インターネット支払い」と伝える お客様側のレジ画面にて [受付番号] [確認番号]を入力 支払内容の確認画面が表示 OKを押してお支払い
お支払い	端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い	端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い		

システムで入金を確認されると、支払確認のメールが届きますので、WEB出願のマイページにログインして出願内容確認票を発行・印刷してください。(領収書/レシートは保管してください。)

② Pay-easy

(ATM・インターネットバンキング)

画面の指示に従って、お支払いを完了してください。

③ クレジットカード

出願登録時に、入学検定料支払方法に[クレジットカード]を選択し、次の画面でカード情報を入力します。
※お支払いされるカードの名義人は、受験者本人でなくても構いません。但し、「個人情報入力」画面では、必ず受験者本人の情報を入力してください。

■ 入学検定料支払い手数料について

入学検定料の他に、1 回の出願ごとに支払い手数料が必要となります。詳しくは WEB 出願サイトの「支払い方法」ページの情報でご確認ください。

- いったん支払われた入学検定料は原則として返還しません。
ただし、返還が認められる場合がありますので募集要項の「入学検定料の返還」項目を参照してください。
- 出願情報登録完了後、入金期限までにお支払いください。

STEP5 出願書類の郵送

支払いの完了が確認される（入金確認のメールが届きます）と、出願サイトのマイページで出願内容確認票（郵送不要）と宛名ラベルが発行・印刷できるようになります[※]。出願に必要な書類を確認して、市販の角 2 封筒（角形 2 号）に入れ、出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

※コンビニエンスストアでお支払いをされた場合、出願書類郵送に利用する宛名ラベルを発行できるようになるまでに、2 時間程度かかる場合がありますので、余裕をもってお支払いください。

出願書類郵送先	〒 206-8799 日本郵便株式会社 多摩郵便局留 成城大学 出願受付係 行
----------------	--

- 学部・学科毎に指定された出願書類を漏れなく郵送してください（一部学科ではWEB出願サイトでの提出も含まれます）。
- プリンタを所有していない等の理由で印刷できない方は、手書きでの郵送で構いません。封筒に宛名ラベルの内容を漏れなく転記してください。

参考 お問い合わせ先

出願に際し、ご不明な点があれば以下のお問い合わせ先までご連絡ください。
 なお、内容によりお問い合わせ先が異なりますのでご注意ください。

<p>出願資格・出願書類などに関するお問い合わせ 例) 出願資格・出願書類の内容詳細、入学検定料支払い済みの出願登録内容の間違いについて、など 受付時間：平日 9時～16時(土曜日の開室日時はお問い合わせください) ※日曜・祝日・大学の休業日は閉室</p>	<p>成城大学入学センター Tel:03-3482-9100</p>
<p>WEB出願サイトの操作方法・宛名ラベル印刷・入学検定料支払いなどに関するお問い合わせ 例) ログインできない、メールが届かない、宛名ラベル(PDFファイル)の表示や印刷、入学検定料のお支払い方法、など 受付時間：平日 9時～16時 ※受付期間は各学部の出願期間となります。 詳しくは募集要項の「日程」の項目を参照してください。</p>	<p>E楽サポートセンター Tel:03-5957-5345</p>

※お問い合わせの際は、出願登録後に送られたメールに記載された「ログインID」をご用意ください。

参考 出願内容確認票と宛名ラベルのサンプル

宛名ラベルは必ず **A4 サイズ縦で印刷** して、封筒に剥がれないように貼付してください。
 印刷例はサンプルなので、実際の出願内容確認票と印刷内容が異なっていても問題ありません。

出願内容確認票 印刷例

※この書類は出願内容確認票のため郵送不要です

出願内容確認票
総合型選抜一次

成城大学
 志願データ
 Web受付番号 E00000
 学号 000000 管理番号付番欄

提出学科 出願内容確認票 1 2

カナ 氏名 成城 太郎
 漢字 氏名 成城 太郎
 姓 成 太郎
 生 年 月 157-8511 東京都世田谷区 成城0-1-20 1号館
 生 年 月 000-0000-0000
 メールアドレス 000000@0000

出願校コード 00000A
 出願校名 000000
 出願学科 00 出願年度 000000
 出願年月 (平成00) 2000年01月 出願コース

方式・日程・学科・学科 試験会場 (試験科目) A方式 選択科目
 経済学科 2/4
 2/5
 2/6
 2/7

提出書類
 ※下記の欄にチェックを付し、ご提出ください。
 出願資格を証明する書類(調査書等)
 志願理由書
 活動報告書および所有資格・活動成果を証明する資料
 外国語検定試験の成績証明書

出願料アカウント
 出願料口座番号

<大学側システム使用欄>

宛名ラベル 印刷例

速達

206-8799

多摩郵便局留
成城大学 出願受付係 行

書留用バーコード貼付欄
 <郵便局にて使用>

出願書類在中

二つ折り厳禁
 簡易書留

住所	157-8511 東京都世田谷区 成城0-1-20 1号館
氏名	成城 太郎
電話	000-0000-0000 000-0000-0000

本票は角2封筒に貼付

Web受付番号 E00000

※出願内容確認票は郵送不要です。ご自身の出願内容の確認としてご利用ください。

出願内容の変更

「志願情報」(受験学部・学科)、「個人情報」(住所・電話番号等)、「WEB 提出書類」の変更は、以下のとおり対応します。

【入学検定料支払い前の場合】

間違えた内容の出願登録は支払いをせず、改めて正しい内容で出願登録と支払いをしてください。「間違えた内容の出願登録」は支払期限を過ぎると無効なデータとなります。

【入学検定料支払い後の場合】

① 受験学部・学科の「志願情報」を変更したい方

いかなる理由があっても変更はできません。

② 住所・電話番号等の「個人情報」を変更したい方

修正が必要な事項を明記のうえ、修正依頼メールを「admission@seijo.jp」(成城大学入学センター)宛にご連絡ください。

③ 「WEB 提出書類」の差し替えをしたい方

修正が必要な書類を明記のうえ、修正依頼メールを「admission@seijo.jp」(成城大学入学センター)宛にご連絡ください。本学で修正依頼を確認後、受験者様にて WEB 出願サイト上で再提出ができるように設定します。

※変更期限は出願期間最終日までとなります。

※メール送信の際は個人特定のため、WEB 出願で登録いただいたメールアドレスからご連絡いただくか、保護者様や他のメールアドレスからご連絡いただく際は、受験者様の氏名・生年月日・住所・電話番号・ログイン ID を漏れなく記載のうえご連絡ください。

入学手続

定められた期間内に以下の手順に従って入学手続を行ってください。

(1) 個人情報の入力

成城大学 WEB 出願サイトの「入学手続をする」より、入学手続をする学部学科を選び入学者情報等の入力を行ってください。

(2) 納付金の納入

納付金の納入は、必ず本学所定の振込用紙（成城大学 WEB 出願サイトからダウンロードしてください）を使用し、一括納入又は分割納入のいずれかを選択のうえ、銀行の窓口から電信扱いで振り込んでください。

(3) 入学手続書類の提出

納付金を納入後、入学手続書類を手続期間内に提出してください（いったん提出した書類は、いかなる理由があっても返却しません）。なお、提出先は合格者向けに WEB 出願サイト上で公開する入学手続要項に記載します。

入学準備プログラム

経済学部	入学予定者に対して、入学までの期間、専門領域の教員が指導を行います。問題意識を高め、入学後の学修につなげます。
文芸学部	英文学科 入学予定者に対して、入学までの期間、英文学科における学びにつなげるためのプログラムを実施します。2026年12月のガイダンスで、入学準備プログラムの詳細を説明するので必ず出席してください。（2026年度入学予定者に対してはガイダンスを含めて合計3回行いました。） 文化史学科 入学予定者に対して、入学までの期間、文化史学科における学びにつなげるための入門的セミナーを実施します。 マスコミュニケーション学科 入学予定者に対して、入学までの期間、マスコミュニケーション学科における学びにつなげるためのセミナーを実施します。遠隔ゼミナール方式で、合計3回行う予定です。 ヨーロッパ文化学科 入学予定者に対して、入学までの期間、ヨーロッパ文化学科における学びにつなげるためのプログラムを実施します。対面あるいはオンライン方式でセミナーを合計2回実施する予定ですので、必ず出席してください。
法学部	入学予定者に対して、入学までの期間、専門領域の教員が指導を行います。問題関心を高め、入学後の学修につなげます（昨年度は入学前に説明会と計4回のゼミナールを実施）。
社会 イノベーション 学部	入学予定者は、入学までの期間に、入学準備プログラムを受講するものとします。専門領域の教員が指導を行います。イノベーションに関連した問題への意識を高め、入学後の学修につなげることを目的とします。 このほか、入学予定者は、2027年3月中旬に、所定の方法により英語試験（CASEC）を受験するものとします（詳細については、入学予定者に、別途通知します）。

学費

2027年度の一般選抜による入学者と同額です。2026年度入学者入学年次納付金は下記のとおりですが、2027年度については金額・納付方法等について一部変更することもあります。

なお、2027年度入学者入学年次納付金一覧は、入学手続要項に記載します。

A. 校納金 2026年度 入学者納付金一覧 (参考) (単位：円)

項目	学部等	経済学部	文芸学部	法学部	社会イノベーション学部
入学金		200,000	200,000	200,000	200,000
授業料		850,000	850,000	850,000	850,000
施設費		280,000	280,000	280,000	280,000
教育充実費		70,000	70,000	70,000	70,000
学習図書整備費		10,000	10,000	10,000	10,000
初年度校納金		1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000

B. 諸会費等 (単位：円)

項目	学部等	経済学部	文芸学部	法学部	社会イノベーション学部
学会費		3,000	—	2,000	1,000
父母の会費		5,500	5,500	5,500	5,500
学友会入会金		2,000	2,000	2,000	2,000
学友会費		5,000	5,000	5,000	5,000
小計		15,500	12,500	14,500	13,500

- (1) 入学金、学友会入会金、学会費（経済学部）の払い込みは、入学年次のみです。
- (2) 授業料、施設費は、前期・後期の年2回の分納も認めております（年2回の分納の場合、授業料は各期425,000円、施設費は各期140,000円となります）。
- (3) 入学手続完了後、2027年3月31日（水）までに所定の入学辞退手続をされた方には、入学金を除く納付金を返還します（詳細は入学手続要項に記載します）。

※外国籍の方が入学した場合、私費外国人留学生授業料等減免対象者になる可能性がありますので、入学後、4月末までに国際センターにご相談ください。

※上記の他に、同窓会費40,000円納入のご協力をお願いしています。

◎ ご寄附のお願い

学校法人成城学園（成城大学）では、教育環境の整備拡充を目的としたご寄附をお願いしております。入学後に改めてご案内をお送りする予定でございますので、任意のものではございますが、趣旨をご理解のうえご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入学検定料の返還

一旦支払われた入学検定料は、原則として返還しません。ただし、下記の入学検定料返還請求事由に該当し、かつ返還請求申請手続に則り請求し、受理された場合に限り入学検定料を返還します。

(1) 入学検定料返還請求事由

- ① 過剰納入（入学検定料を適正な金額より多く納入した）
- ② 書類未提出（入学検定料を納入したが、出願書類を出願期間内に提出しなかった）
- ③ 出願不受理（入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、受理されなかった）
- ④ 期間外振込（入学検定料を振込期間後に納入した）

(2) 返還請求申請手続

入学検定料返還願（所定用紙）の太枠内に必要事項を記入・捺印の上、下記の宛先まで「簡易書留」扱いで郵送してください。なお、入学検定料返還願（所定用紙）は本学入試情報サイト上からダウンロード・印刷してください。

成城大学入試情報サイト「成城ブリッジ」 <https://admission.seijo.ac.jp>

宛 先：〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

成城大学入学センター入学検定料返還係 行

申請期限：2027年3月5日（金）※期限日必着

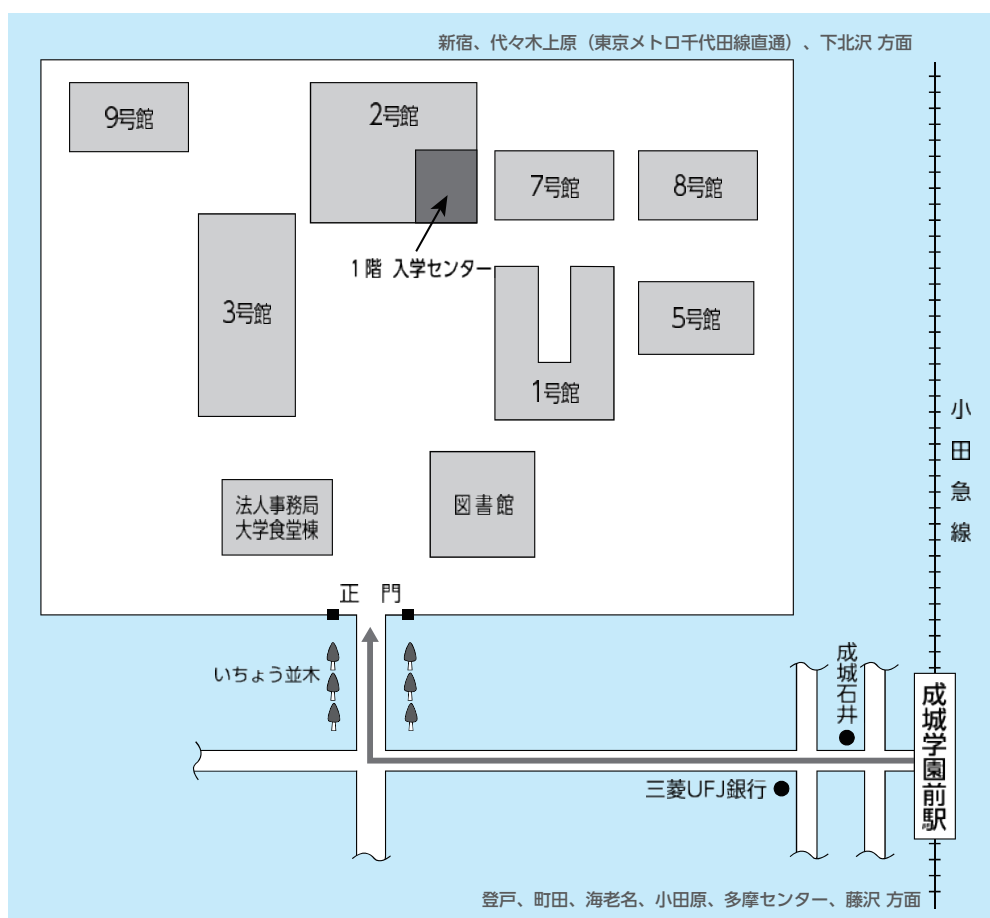
(3) 申請上の注意

- ・入学検定料の支払い手数料は返還対象外となります。
- ・入学検定料の返還予定日は、学内処理の都合上、2027年4月下旬となります。
- ・返還はご指定口座への振込みをもって完了とし、別途、連絡は行いません。
- ・入学検定料返還請求事由に該当しても、返還請求申請期限までに上記の手続を完了していない場合は、請求に応じられません。

入学辞退

入学手続完了後、2027年3月31日（水）までに所定の入学辞退手続をされた方には、入学金を除く納付金を返還します（詳細は入学手続要項に記載します）。

成城大学キャンパス



小田急線「成城学園前」駅中央改札口（北口）徒歩約4分

ご注意 小田急線「快速急行」は通過となりますので、乗車には十分ご注意ください。

個人情報の取り扱い

成城大学では、出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他個人情報を、成城学園個人情報保護方針に基づき適切に管理し、出願処理、入学者選抜実施、合格発表、入学手続、学籍管理業務及びこれらに付随する事項、個人を特定しない形での統計資料の作成を行うために利用します。

上記の業務は、その一部を成城大学が委託した業者において行います。業務委託にあたっては、十分な個人情報保護の水準にある企業を選定し、漏えいや目的外利用を行わないよう機密保持条項を含む契約により義務づけ、適切な管理を行います。また、その再委託先についても同様に契約を締結させ、目的外利用を行わないように個人情報の管理を徹底させます。

お問い合わせ先

出願資格・出願書類などに関する
お問い合わせ

成城大学 入学センター

Tel:03-3482-9100 E-mail:admission@seiyo.jp

受付時間:平日9時～16時（土曜日の開室日時はお問い合わせください）

※日曜・祝日・大学の休業日を除く

WEB出願サイトの操作方法・宛名ラベル印刷・
入学検定料支払いなどに関するお問い合わせ

WEB出願ヘルプデスク（E楽サポートセンター）

Tel:03-5957-5345

受付時間:平日9時～16時

本要項に記載の選抜方法・試験日時等を変更する場合は、本学Webサイトでお知らせします。

成城大学入試情報サイト「成城ブリッジ」 <https://admission.seiyo.ac.jp>